



# 防コミの歩き方

## 未来の防災リーダーを地域ぐるみで育て、防災力向上を！

神戸市の防災福祉コミュニティ（以下「防コミ」という）のほとんどは、小学校区単位で結成されているのですが、現在、長田区の室内小学校区内には校区の見直しなどの経過を経て、重池・会陽・番町地区の3つの防コミが存在します。

とはいえ、3防コミが協力し合い地域の子どもたちのために尽力しています。

### ●小学校での活動

室内小学校では、毎年6月の日曜参観を利用し全校生（約180人）とその保護者を対象とした防災訓練を実施しています。

今年は6月12日に、水消火器による消火訓練を会陽地区、バケツリレーを番町地区、毛布による簡易担架搬送を重池地区と、それぞれの防コミが種目別に訓練指導にあたりました。その他、長田消防署によるはしご車の展示や地元第2、第3分団指導による小型動力ポンプでの放水体験もおこないました。

### ●中学校での活動

3地区防コミの子どもたちに対する想いは、小学生にとどまりません。

室内小学校を卒業した児童の大半は、丸山中学校へ入学します。

丸山中学校区内には、3地区防コミに加えて名倉地区防コミも含まれています。

名倉地区防コミでは名倉小学校において「防災キッズ」を募集し任命式をおこない、防災教育の一環で8月5日には地域の協力により「防災教育ツアー」と称して防災施設の見学・体験をおこないました。

中学校での防災行事にはこれら4地区防コミと一緒に参加しています。

また丸山中学校では、毎年1月に4地区防コミの代表者が任命者として「防災ジュニアリーダー」の任命式が全生徒の前でおこなわれています。

この「防災ジュニアリーダー」は、室内小学校での防災訓練で訓練要員として支援にあたるなど地域での訓練等さまざまなボランティア活動をおこなっています。

### ●活動の結果

地域ぐるみで未来の防災リーダーを育てつつ、訓練や地域・学校の行事を通じて地元の人達が互いに顔の見える関係を目指す活動は、確実に災害時の地域防災力向上につながっています。

（長田消防署 甲斐康之）

